

旧街道ウォーク346★古代東海道[34] [古代東海道 2008-09 その 13] 「常盤平～布施」活動報告

【日 時】2009 年 4 月 29 日（水・祝）11:00～17:40 快晴

【コース】常盤平駅 →（旧鉄道連隊演習線跡）→ 栗ヶ沢 → 酒井根 → 東中新宿＜昼食＞ → 豊住 → 日立台（あかね緑地）→ 柏神社 → 根戸新田（松ヶ崎城址）→ 根戸 → 布施弁天（東海寺）＜13km＞

【参 加 者】○大竹亮、梶川義実、片桐拓朗、加藤栄子、北橋伸一、児山文一、高梨健一、寺村映、長澤純一、長谷川万里子、平野隆、古里実（以上 12 名）（○は主催者）

【概況説明】

この日は、晴れた暖かい日でした。常盤平駅から北口側へ降り、旧鉄道連隊演習線の跡を辿りながら、以前に歩いた県道の栗ヶ沢分岐点へ。ここから、今回提案の別ルートに入りました。大道通の名の残る住宅街を抜け、主要道に面した龍光寺、八坂神社に寄ってから東中新宿の光が丘団地で昼食休憩をとりました。その先、あかね町にある日立総合グラウンド、あかね緑地（古代菑津駅推定地）を通過し、Jリーグ観客が大勢歩くレイソル通りを経て、柏神社で旧水戸街道と合流します。柏市街のアミューズ柏で小休止ののち、北へ向かい大堀川を渡り、現在整備中の松ヶ崎城址へ登りました。その先、根戸の台地へ上がり布施地区の旧道を抜けて、利根川を望む東海寺（布施弁天）にて終了となりました。

【評価結果】

古代官道らしさについては、ほぼ尾根の部分の一本道であり、直線性に疑問のある部分もあったものの、平均よりやや高めの評価となりました。沿道風景については、農家の生垣や布施地区の集落を挙げた人が多く、やはりやや高い評価となりました。古道の史跡については、あかね緑地、松ヶ崎城址、布施弁天などが認められ、高い評価となりました。案内表示については、歴史に関するものはあったものの、古道に関するものがほとんどなく、低い評価となりました。印象に残ったものとしては、最後の布施弁天が圧倒的に多かったです。まちづくりの方向としては、古道や史跡を活かす散策ルートの提案が多い一方で、密かに歩く方が面白いという意見もありました。全体を通じての評価点は 3.44 で、平均的な評価となりました。



推定古代東海道／酒井根の農家の生垣



推定古代東海道／布施地区の旧家の風景

【参加者の評価結果】

1 ◆全体を歩いた感想 評価点：3.44 内訳 AABBBBBBBB

A：常盤平から柏を経て布施の利根川まで、地形に逆らわず、ほぼ最短に至っており、古寺社や城址も点在している。沿道農家の生垣や旧家の屋敷構えに風情が感じられ、古道の雰囲気を楽しむことができる。

A：前回の布佐～龍ヶ崎は、土地勘がないところでしたが、今回のルートは、常盤平周辺や柏市内は昔からのなじみの場所なので、自分は今どこを歩いているのか実感を持ちながら歩け、非常に親しみと安心感がありました。

B：爽やかな晴天に恵まれ、百花繚乱、新緑が目には鮮やかで、あかね緑地、松ヶ崎城跡、布施弁天など随所に古代東海道を想像させる見所もあり、気持ちよく歩けた。

B：前半は住宅地が多く比較的単調な道であったが、大堀川以降、松ヶ崎城址や布施弁天といった見どころが多く、快適な気候と相まって楽しく歩くことができた。

B：鉄道連隊演習線跡やあかね緑地、柏レイソル通り、小金牧、松ヶ崎城跡、東海寺など思っていた以上に見所が多く、このコースもある時期に古代東海道であったと思わせるに十分なものだと感じた。

B：コースはなかなか興味深いものがありました。車の通行が多く歩きにくいところがあったのが難点ですが、これはやむを得ないことなのでしょうね。

B：全体に普通の郊外の雰囲気が強かったが、終盤の柏市北部は、かなり地方にきた感じが強かった。

B：古代官道の要件は、結構あったと思う。しかし、上総国府～常陸国府の道路を利用して下総国府～常陸国府の連絡を行ったと考えるほうが自然とも思う。

B：お天気良くて、気持ちよく歩けましたが、ちょっと距離が長かったです。

2◆特に魅力的だったところ

○旧鉄道連隊演習線跡：常盤平駅近の近くに雑木林があることにまずびっくり。その中の真っ直ぐな通り抜けの道が演習線跡ときいてよくぞ残っていると思い、またまた不思議な感じがした。

○鉄道連隊演習線跡：風情ある緑の林になっているが、そこを多くの人が駅への近道に使っているのには驚いた。

○酒井根の農家生垣：広々した畑、遠くの平地林、そして立派な農家の屋敷を囲う生垣。新緑がまぶしかった。

○酒井根の生垣：二段の生垣が屋敷を取り囲む風景は壮観。

○酒井根のホウの花：ホウの花は初めて見た。

○八坂神社

○道ばたに立っていた庚申様

○永楽台の道路予定地：古代東海道推定コースに沿って、地形を越えて一直線の広幅道路予定地が横切っており、時代を超えて古道を彷彿とさせた。

○あかね緑地：高台にあり、見下ろすと、古代の旧手賀沼の入江を彷彿とさせる地形。

○あかね緑地：普通の公園ではあったが、地形的に昔の港という雰囲気もあった。

○あかね緑地：台地から手賀沼の入江に突出している様が良くわかり、谷間の家々の屋根が水面の波のようにも見え、古代東海道茜津駅を想像させた。

○小金原の野馬除土手跡：水戸道中を歩いたとき見つからず、今回見る事ができた。

○野馬除の土手：こうしたものが残っているのが面白い。

○日立台公園から先の土塁跡と思われる直線道路（レイソル通り）：古代官道の跡地を使ったとも考えられる。

○レイソル通り：地味な商店街を大勢の人々が次から次へと歩いていくのには驚いた。

○柏神社：水戸街道に面する柏商店街の喧噪にあって、ここだけは格調高い雰囲気を保っている。

○呼塚の雑木林：駐車場の中に推定古代東海道の並木道が残っているのがうれしい。（木を切らなかった玉姫殿はえらい！）

○松ヶ崎城址：忽然と現れた城址公園が要衝の地であることを感じさせた。

○松ヶ崎城址：手賀沼の低地に突き出した小山の上にある廃城。公園として整備されつつあったが、あまり手を入れずに昔の雰囲気を保ってもらいたい。



栗ヶ沢の旧鉄道連隊演習線跡



推定古代東海道／利根川を望む東海寺（布施弁天）

○松ヶ崎城址：主催者が「いま一つ古代遺跡が欲しい」とつぶやいた丁度その時、整備されたばかりの中世の城跡が忽然と現れ、しかも古墳の上というから絶妙のタイミング。

○松ヶ崎遺跡：このまま古墳になりそうな場所であった。

○富勢小学校校門付近：巨木と見事な彫刻の庚申尊が調和し、情操教育に良い。

○布施弁天通り：両側に生垣の見事な屋号のある豪邸が続く素敵な道。

○布施の旧家：最後の約2キロは布施の旧集落を歩いたが、沿道の旧家の建物や生垣、蔵などに風情が感じられて楽しかった。

○ゴールの布施弁天：あんなところ（失礼！）に、あんな立派な社があるなんて。利根川の眺めも最高でした。布施弁天に続く道沿いの民家も立派なものが多く、豊かさを感じました。

○布施弁天：利根川を見下ろす高台にある、意外にも立派な寺院。

○布施弁天：立派な楼門や朱塗りの三重塔が印象的だった。

○布施弁天鐘楼：八角形の基壇に円形の縁、十二角形の柱という珍しい造り。お見事！「からくり伊賀」！

○布施弁天鐘楼：もう少し時間があればゆっくり見られたのですが、八角形の全体の形や、十二支の彫刻が非常に気に入りました。からくりが隠されているような雰囲気がありました。

○布施弁天（東海寺）：初めて行っただが、小山の頂上に小祠があるだけの寂れた風景を想像していたら、とても立派なお寺で驚いた。

○布施弁天（東海寺）：小高い丘の上から利根川の眺めは今回の検証コースの終点にふさわしいものでした。

○布施観音からの利根川の眺望：「すばらしい」の一言に尽きる。

3◆古代官道らしさ（直達性、短絡性、古代史跡等） 評価点：3.67 内訳 AAAABBBBC

A：あかね緑地は地形上からも説得力があり、終点の東海寺も歴史を感じさせた。

A：道が稜線沿いにあることや、特に日立台付近はいかにもといった状況が感じられました。

A：全体に谷筋を避けた尾根道であること、ほぼ最短で石岡の方向に向かっていること、少なくとも中世にさかのぼる寺社、城址が点在すること、手賀沼を渡りやすいこと、茜津駅に推定できるあかね緑地の存在などから、古代東海道の可能性は高そうである。

A：古代かどうかは初心者の方には判断しかねますが、歴史を感じさせる旧道が続き、いにしえの人たちはここを通ったんだなあ、と、素直に感じる事が出来ました。

B：全体として直進しており、主催者の口車に乗せられたかもしれないが、あかね緑地、松ヶ崎城跡、布施弁天など随所に古代東海道を想像させる場所があった。

B：分水嶺を行く直線状の直達性のある道であり、松ヶ崎城址や布施弁天など要衝の地の存在が古道らしさを感じさせた。手賀沼流域の水運を伴わない陸路として存在していた印象が強い。

B：概ね北へ向かう道であったが、直線道路が続くといった感じには乏しかった。

B：感じられる区間は多かったが、利根川渡河地点として適当かどうかは議論の余地がある。

C：普通の更地や民家だとなかなか感じづらいです。



推定古代東海道／日立台付近の都市計画道路予定地



推定古代東海道／茜津駅の候補地・あかね緑地

4◆沿道風景の魅力 評価点：3.67 内訳 AAABBBBBB

A：布施地区内の農村集落は、どの農家も立派であり生け垣がとても綺麗だった。和菓子屋は、すべてに工夫があり美味しかった。

A：常盤平～酒井根に広がる丘陵地帯。森と畑がうねりながら続き、低地の田圃地帯とはまたちがう雄大な景観でした。

A：酒井根付近の農家の新緑の生垣、布施の旧家の立派な屋敷構え、あかね緑地や松ヶ崎城址からの見晴らしなど、すばらしい。

B：酒井根の緑の沿道、見下ろすと古代の旧手賀沼の入江を彷彿とさせるあかね緑地、柏レイソルの観戦の人の波を尻目にたたくむ小金原の野馬除土手跡、絶妙のタイミングで忽然と現れた松ヶ崎城跡、見事な彫刻の庚申尊、豪邸が続く素敵な布施弁天通り、布施弁天の鐘楼など魅力的な風景が多かった。

B：雑木林や農家の防風林としての生垣等が美しく心なごむ感じがした。

B：松ヶ崎城址跡の高台から見下ろす手賀沼に繋がる景色がよかった。

B：民家に屋号の様なのが立っていた所が数件ありました。花が沢山咲いていました。ゴールに近づくにつれて素敵な旧家というか瓦を使った昔ながらの家が沢山ありました

B：布施地区の大きな旧家や立派な生垣が印象的だった。

B：根戸や布施のあたりの風景がよかった。布施弁天から望んだ利根川もよい。

5◆古道にふさわしい史跡 評価点：4.00 内訳：AAAABBBB

A：史跡というか、日立総合グラウンドのところにある「あかね津」。大竹さんの想像力豊かなお話（皆の者見よ！この入り江にこんなに船が停泊しているのを…）を聞きながらあかね緑地から見下ろすと、本当にそう思えてきました。それと、布施弁天。

A：龍光寺、八坂神社、柏神社、諏訪神社など風格ある寺社が並び、最後の東海寺（布施弁天）は利根川を見下ろす山の上にあって古代道にふさわしかった。松ヶ崎城址（廃城）も、往古の歴史を彷彿とさせた。

A：富勢小学校入口にあった庚申塔が素晴らしかったですね。三尸の虫の話をどこかで読んだような気がしましたが忘れしました。

A：八坂神社、松崎遺跡、布施弁天など古い史跡が多かった。

B：あかね緑地、松ヶ崎城跡、布施弁天など随所に古代東海道を想像させる場所があった。

B：あかね緑地と東海寺は古道にふさわしい史跡と言えると思う。

B：松ヶ崎城跡は確かに史跡な感じがしましたが、説明して貰わないと判りませんでした。広い空き地にも見えませんでした。

B：松ヶ崎城址や立派な布施弁天が残されていた。

C：江戸期のものは有ったが古代の史跡は無かった。



推定代東海道／酒井根の古刹・龍光寺



推定古代東海道／酒井根の八坂神社

6◆古道や歴史の案内表示 評価点：2.00 内訳：BBBBCCCC

- B：ところどころの追分に建つ道標に歴史を感じました。
B：古道に関するものは乏しかったが、小金牧や松ヶ崎城に関する案内があった。
B：史跡に関するものは多くあったが、古道に関するものは少なかった。
B：少しあったように思いましたが、そんなに豊富ではなかったかと。
C：ほどほどにあったように思う。
C：土塁と柏神社には有ったが、他は乏しかった。
C：少なめだと思いました。
C：古道に関する案内表示はほとんどなかったように思う。

7◆古道を活用したまちづくりの方向

- 今回のルートが古代東海道かどうかの判断は私にはつきかねますが、少なくともそれなりの古道だということはいわかりました。これを地元はもっと宣伝（歴史案内）するのがいいのか、そっとしておいて愛好者が「これはやはり…」と密かに納得しながら歩くのがいいのか、どうなのでしょう。
○これだけ古道につながる史跡があり、かつ現在の都市計画道路やレイソル通りがあることから、これを古代東海道だと推定宣言して、まち歩きコースや観光コースとして宣伝すると良いのでは。
○柏市内を縦断する史跡散歩コースの一つとして活かせないか。特に、鉄道連隊演習線跡やレイソル通り、野馬除土手、松ヶ崎城址、布施弁天など、ユニークな素材も多い。古代道を歩いて、中世、近世、近代、そして現代と歴史の証言を体験するという趣向は有意義と思う。
○あまり観光コースになっても、面白みがなくなるのでは。ところどころに「古道の駅」などで解説があるようなものはどうでしょうか。
○松ヶ崎城址や布施弁天といった拠点はあり面白いと思うが、布施地区の交通の便に難があると思う。
○松ヶ崎遺跡の付近を整備すれば、少しは可能性があるのでは。



古代東海道／日立台付近の野馬除土手



古代東海道／柏駅～日立台のレイソル通り

8◆その他、今回の企画や気づいた点など

- 今回の区間は、柏市史で想定している区間と比べても、古代官道らしさにおいて遜色はないと思う。問題は、利根川渡河およびその後のルート評価であろう。(Y. K)
○今回の検証コースを歩いて、古代官道はその時期によってコースがいくつかあったのではと思いました。大竹さん、名古屋から検証ご案内ありがとうございました。(M. F)
○松ヶ崎城址が忽然と現れ、古代官道としての説得性が増したと思う。城址公園の整備が進むことを期待したい。(S. K)
○根戸の手前で台地に上がったが、そのあと台地上が平地であったことが意外でした。別コースとの比較は、全体には短絡ルートだと思うが、古道らしさが強いと言われるとそうでもない。何ともいえない、というのが正直な感想。(T. K)

○常盤平周辺の鉄道連隊線跡は、元鉄道ファンとしては非常に興味がわきました。古代道とは別にこのようなちょっとしたスパイスがあると、さらに歩く楽しみが増すと思いました。(T. H)

○事前の勉強不足と体力不足を反省しました。(後半歩くので一杯一杯) 松戸、柏辺りだと住んでいる知り合いも多いので、色々話易かったです。私にとっては初めての土地で、道も綺麗だし、家がそれぞれ立派な造りで驚きました。ラスト2キロ辺りは足の疲れが勝ってしまいました。でも色々見ながら歩くのはとても楽しく、また参加したいと思いました。(M. H)

○別経路ということで、あまり乗り気でない人もいたかもしれないが、人数も意外に多く、見所もあって、楽しい検証となった。(J. N)

○初めての参加でまだ様子がよくわかりませんが、長く続けるのがよろしいのかと。(U. T)

◆主催者より

今回は、あまり急に茨城の遠くへ入り込まないように、という梶川さんの配慮(?)でしょうか、別ルート検証の機会をいただき、感謝しております。皆さんの評価・感想を拝見し、別ルートに対する支持が多く心強く感じたと同時に、決定打はなく課題も残されたと認識しました。利根川から先が成立するかがポイントと思いますので、尾張から板東に戻った後に、TXを駆使して企画したいと思います。その際はまたご参加下さい。ありがとうございました。(大竹 亮)



推定古代東海道／松ヶ崎城址（史跡公園）



推定古代東海道／永楽台付近の道路予定地